

前週の子どもたちの姿から

・自分たちが力を合わせて掘ってきたジャガイモを、行かなかった3歳児にあげたい、食べさせたいという気持ちで、ジャガイモを分ける、届けるなど、大事に扱っていた。
 今まで作っていなかった子どもが新聞紙の剣を作り、新たに作りたくなった友達に教える姿が見られた。しっかりと丸め、その上に丁寧にビニルテープを巻いていた。緩衝材を利用した動物作りでは、こうしたいという完成形を目指して、何度も作り直す姿が見られた。
 遊びたい気持ちが優先し、素材や遊具をぞんざいに扱ったり、パパッと作って使おうとしたりすることもあった。数に限りがある物を使う時には、取り合いが起ったり、自分の思い通り進めようとしたりすることもあった。

モノ:新しいモノとの出会いを生かし、扱い方や使い道を工夫する中で、じっくりと関わる満足感を得られるようにする。また子ども同士で、モノの使い方や遊び方を考え、伝え合う姿を認めていく。
モノや場を作る過程で、材料選びや使い方に工夫を重ね、自分なりにこうしたいというモノに近づけ、丁寧に実現させる楽しさが味わえるよう、教師も一緒に探究していきたい。

・気の合う友達と一緒に遊ぶことは楽しいが、そこでの関係をよく見ると、特定の一人の発言力が強かったり、思っていることが相手に伝わらずに怒ったり泣いたりしている姿がある。教師が、それぞれの思いを伝え合えるように援助する場面がいくつもあった。

ヒト:じっくり遊ぶためにはどうしたらよいか、子ども同士で考えを出し合っているよう、教師も共に取り組みながら支える。
友達に対して素直に自分の気持ちを表し、関わり合って遊びを進められるように、必要に応じて教師が関係をつなぐようにする。

・ジャガイモ掘りを皆で体験したり楽しんだりして共有したコトから、様々な取り組みが展開していった。
 畑の野菜の変化に気付き、嬉しそうに教師や友達に様子を伝えたり、水を遣ったりしていた。木曜日には切ったピーマンを職員室で調理してもらいクラス全員で食べた。初めてピーマンを口に、嬉しい経験になった子どももいた。
 自分の植えた野菜の生長をみんなで喜び合うことや収穫して食べることを通して、年長組みんなで共有する経験となった。

コト:子どもの興味から始まった遊びやこの季節ならではの体験が、丁寧に積み重ねられ継続していくことを大事にしていきたい。
共に体験したことをきっかけにして、一人ひとりが身の回りのコトに関心をもって取り組めるようにしたい。



*** 週のねらい**

- 相手の思いを受けとめながら自分の考えを伝え、友達と一緒に継続して遊ぶ。
- 身の回りの自然や、畑に植えた苗や種の変化や生長に気付き、友達と一緒に大切に关わる。
- 「じゃがいもやさん」を楽しみにし、考えを出し合ったり、役割を担おうとしたりする。

環境の構成・教師のかかわり

○相手の思いを受けとめながら自分の考えを伝え、友達と一緒に継続して遊べるように。

- ・子どもたち一人ひとりの発想を大切に、素材を選んだり、作り方を工夫したりして物や場を作り、イメージが実現できるように援助する。
- ・物や場を作る過程で、周囲の友達にイメージが伝わるように支え、関わり合って遊ぶことができるようにつなぐ。
- ・使いたい遊具や道具が、先に使われていたり、やり方がわからなかったりして、使い出せずにいる子どもが、一歩踏み出せるように後押しする。
- ・イメージの違いから遊びが続かなくなる場面では、お互いの思いに気付けるように支え、相手に伝わるように働きかける。
- ・砂場や川遊びでは、考えを出し合い、道具を組み合わせて試すなどして遊びを進めている姿を認める。
- ・始めた遊びを十分に楽しみ、片付けへ向かう気持ちにつながっていくようにする。やり切った充実感、きれいに片付けた後の心地よさを、一緒に遊んでいた友達と味わえるようにする。

○身の回りの自然や、畑に植えた苗や種の変化や生長に気付き、友達と一緒に大切に关わるように。

- ・野菜の生長に興味をもち、世話をしている子どもの姿を認め、水遣りや芽かき、雑草抜きなどを継続していけるようにする。
- ・自分が植えた苗が育ち、収穫できるようになったことを喜ぶ気持ちを受け止めつつ、みんなで育てている気持ちを持ち、感謝できるように投げかける。
- ・自分の身長と野菜の背丈を比べたり、葉や花に触れたり、においをかいだり、からだ全体で変化や生長を感じる姿を丁寧に見取る。
- ・野菜を調理する時には、衛生に留意する。時には職員室と連携して、クラス全員で食べるような機会を設けて、みんなで恵みを感じられるようにする。
- ・自然との関わりの中で、誰かが気付いたことを子ども間で共有し合えるよう、言葉をつなぐような関わりを意識する。

○「じゃがいもやさん」を楽しみにし、考えを出し合ったり役割を担ったりできるように。

- ・みんなで進める活動とそれぞれの好きなコトへの取り組みに、生活の中でバランスよく臨めるように、一人ひとりの姿に応じて働きかけを変える。
- ・年少・年中組を招待するために必要な物を、子どもの発想を生かし、楽しみながら作れるようにする。
- ・準備や当日は、子どもが動きやすく、意欲的に取り組めるように、教師間で連携して、物の配置や道具の準備を進め、動線に配慮する。
- ・年少・年中組にお知らせに行ったり、チケットを配ったりすることで、当日への期待やみんなで取り組むという気持ちが高まるようにする。
- ・当日は、落ち着いて取り組めるように、必要なコトをわかりやすく伝える。
- ・一人ひとりが活躍でき、みんなで取り組む楽しさや充実感を味わえるようにする。
- ・消極的な子どもには、周りの様子を伝えるなど個別に働きかけ、できそうなことを教師も一緒に考え「やって楽しかった」という思いにつながるようにする。
- ・年少・年中組、ナーサリーの子どもたちの生活の流れを考慮し、双方の子どもたちにとってうれしい時間になるよう、教師間の連携を丁寧にを行う。

24 (月)	25 (火)	26 (水)	27 (木)	28 (金)
9:00 登園 自分たちの遊びや生活を進める ・畑のお世話をする 保育室・廊下：調理・製作・ごっこ遊び、お店屋さん等 園庭：ジャガイモスタンプ・砂場川遊び・外ままごと・虫取り等 遊戯室：大型遊具等 アトリエ：ジャガイモ (大きさ分け・数える) 10:45 片付け 11:10 ジャガイモの取り組みについて、共有する 11:30 降園	9:00 登園 自分たちの遊びや生活を進める ・畑のお世話をする 「じゃがいもやさん」に向けて ・ジャガイモスタンプ看板作り ・チケット作り ・数を数える・タライの準備等 10:30 片付け 11:00 ジャガイモ洗い ○グループごとにタライを囲み、洗う ○洗ったイモをボウルに入れ、用務員室に運ぶ 11:40 弁当準備・弁当 自分たちの遊びや生活を進める 12:30 片付け (年中・年少組にお知らせ) 「じゃがいもやさん」の流れの確認 持ち物 (三角巾) 13:30 降園 ジャガイモ調理ボランティアとの打ち合わせ	9:00 登園 ・畑のお世話をする 「じゃがいもやさん」遊戯室にて 9:15 準備開始 飾り等作り 遊戯室に椅子や机等を運ぶ 10:05 年少児ご招待 10:25 ナーサリー・年中児ご招待 11:05 年長児も食べる *皿などを片付け、椅子を保育室に戻す 11:30 降園準備 11:45 降園	9:00 登園 自分たちの遊びや生活を進める ・畑のお世話をする 保育室・廊下：製作・ごっこ遊び お店屋さん等 園庭：野菜の調理・砂場・川遊び 外ままごと・虫取り・ドロケイ・固定遊具・スタンプ遊び等 遊戯室：大型遊具等 10:50 片付け 弁当準備・弁当 自分たちの遊びや生活を進める 12:40 片付け 13:10 降園前の集まり 降園準備 13:30 降園	9:00 登園 自分たちの遊びや生活を進める ・畑のお世話をする 10:40 片付け 11:10 降園前の集まり ・季節の絵本、歌等 降園準備 11:30 来週の話をして、降園 公開保育研究会

手遊び・歌・ゲームなど「畑のポルカ」「にじ」「エースオブダイヤモンド」「イス取りゲーム」
 絵本・紙芝居：野菜に関するもの・自然に関するもの